

# 平成26年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

帯広市立川西小学校

## ○調査の目的

- ・子どもの体力が低下している状況をかんがみ、国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・各教育委員会、学校が全国的な状況との関係において、個々の成果と課題を把握し、継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ・各学校が児童の体力・運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

## ○調査対象 第5学年児童

## ○調査の内容

- ①体格に関する調査 (身長・体重)
- ②実技に関する調査  
(握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20mシャトルラン・50m走  
立ち幅跳び・ソフトボール投げ)
- ③質問紙による調査

## ○調査結果の概要

- ①体格に関する調査
  - ・男子の身長は全国平均とほぼ同じ。体重は全国・帯広市平均を上回っている。
  - ・女子は身長・体重とも全国・帯広市平均を上回っている。
- ②実技に関する調査
  - ・体力合計点については、男女ともに全国・帯広市平均を下回る。
  - ・握力・ソフトボール投げについては、男女ともに全国・帯広市平均を上回っている。
  - ・男子の長座体前屈・反復横跳びについては全国・帯広市平均を上回っている。
  - ・上体起こし・20mシャトルラン・50m走の平均が低く、特に20mシャトルランと女子の上体起こしについては全国平均よりかなり低く、柔軟性と持久力に課題が見られる。

## ○調査結果を受けて

- ①課題  
体力・運動能力については、継続的な取組により総合的に高める必要がある。
- ②今後の取組
  - ・川西サーキット(らんらんラリー)等の取組を継続的に行い、休み時間を活用した恒常的な体力向上の取組に努める。
  - ・学校の教育活動全体を通して、児童が運動の楽しさを味わう機会を増やす。
  - ・「あたまとからだの元気度調べ」の取組を通して、学校・家庭・地域が一体となって運動習慣・生活習慣の向上に努める。